

## 令和4年第11回栗原市教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年8月24日(水) 午後3時

2 招集場所 金成庁舎201会議室

3 出席委員

1番 只見直美委員      2番 蘇武徳行委員  
3番 久我一仁委員      4番 千葉みどり委員

4 説明のため出席した者

教育長	佐藤新一
部長	三塚満
次長	尾形寿美
次長	菅原健志
教育総務課長	菅原浩志
学校教育課長	菅原主税
学校教育課副参事	菅原博
社会教育課長	佐々木克則
文化財保護課長	千葉長彦
教育研究センター所長	松田良幸

5 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 高橋一人

6 出席点呼・開会

午後3時

教育長 本日、教育長及び教育委員の過半数が出席しておりますので、直ちに会議を開きます。

7 教育委員会会議録の承認

教育長 3 教育委員会会議録の承認について、事務局に内容の説明を求めます。

事務局 (令和4年7月13日開催の令和4年第9回栗原市教育委員会定例会及び令和4年7月27日開催の令和4年第10回栗原市教育委員会臨時会の概要を説明)

教育長 説明が終わりました。何か質問はありませんか。  
(なしの声あり)

教育長

質問がないようですので、異議なしと認め、令和4年第9回栗原市教育委員会定例会及び令和4年第10回栗原市教育委員会臨時会の会議録は、承認することとします。

## 8 教育委員会会議録署名委員の指名

教育長

4 教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

2番 蘇武委員、4番 千葉委員 に会議録の署名をお願いします。

## 9 教育長報告

### (1) 一般事務報告

教育長

5 教育長報告を行います。

(1) 一般事務報告について、資料をご覧ください。

第9回教育委員会定例会後の主な対応事業について説明いたします。

8月2日、山崎武司杯中学生野球大会が栗駒野球場で行われました。2日間の予定が8月3日の分が雨で中止となったため、1日だけの開催でした。5チームが参加しております。

8月12日、全国中学校体育大会出場選手壮行式がありました。結果については、後ほど担当課長から説明があります。

8月14日、第35回全日本小学生相撲優勝大会東北ブロック予選会がみちのく伝創館で行われました。学童相撲の東北大会がコロナ関係で中止になり、全日本の予選会だけが行われた形です。

同じく14日、第57回春を呼ぶ裸たるみこしが一迫で行われました。例年は冬の寒い時期に行われておりますが、コロナ関係で今年は時期をずらして開催ということでした。

8月18日、輝く日本一くりはら大賞の贈呈式が本庁舎で行われました。市長から佐藤葵心さんに大賞が贈られました。佐藤さんは、毎日書道展の前衛書部門で毎日賞を受賞されています。大人になってから、国語の教員を目指す中で書道を始めたそうです。作品は、9月19日から23日まで仙台のアエルで展示されます。

8月19日から22日まで第52回全日本中学生ホッケー選手権大会が開催されました。詳細は、後ほど担当課長から説明があります。

次に、児童・生徒及び教職員の状況です。

別紙2をご覧くださいと思います。7月分となりますが、小学校が12人、中学校が47人という状況です。これらの人数が増えていかないように、できるだけ抑えていきたいと思っております。いじめの認知件数については、ご覧のとおりです。問題行動についても、これまでと同じメンバーが同じように繰り返しているようです。学校も頑張っ

次に、事故・けが等については、交通事故が2件ありましたが、捻挫、擦傷程度で済んでおります。虐待及び虐待の疑いについては、ご覧のとおりです。金銭強要の関係では、生徒の保護者に対しても学校から指導を行っております。その他については、グループ通話で脅迫するような暴言を吐いたというものですが、警察の注意指導を受けております。

以上となりますが、何か、質問はございますか。

教育長

ほかに何かございますか。

(なしの声あり)

教育長

質問がないようですので、(1) 一般事務報告を終わります。

## (2) 専決処分報告

教育長

次に(2) 専決処分報告です。

報告第14号 専決処分の報告について(令和4年第4回栗原市議会臨時会に提案する教育関係議案に対する意見について)、内容の説明を求めます。

教育総務課長

定例会資料1の6ページをご覧ください。

報告第14号 専決処分の報告について、であります。

令和4年第4回栗原市議会臨時会に提案する教育関係議案に対する意見を栗原市長から求められたことについて、栗原市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により、下記のとおり専決処分したので、同条第2項の規定により報告する。

1 意見 異議なし

2 専決年月日 令和4年8月17日

令和4年8月24日提出、栗原市教育委員会教育長でございます。

本件につきましては、8月25日に招集予定の第4回栗原市議会臨時会に提案する教育関係議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、8月16日付けで市長より教育委員会の意見を求められたことから、教育委員会にお諮りするいとまがなく、異議のない旨、専決処分したものであります。

定例会資料2の1ページをご覧ください。

提出議案につきましては、報告1件、予算議案1件、その他議案1件となっております。

2ページをお開きください。

はじめに、報告第5号 専決処分の報告について、ご説明いたします。地方自治法第180条第1項の規定により、未払いとなっている学校給食費及びこれに係る督促手数料の支払いを求める訴えを提起するため、専決処分を行ったものであります。

本件につきましては、長期にわたり学校給食費を滞納し、再三にわた

る督促等にも応じず滞納を続けた相手方に対し、令和4年5月26日に築館簡易裁判所へ支払督促申立を行ったところ、同年6月10日に相手方より督促異議申立がありました。このため、健全に納入をしている保護者との公平性を確保するため、民事訴訟法の規定に基づき、同日付けで市が訴えを提起したものであります。

なお、本件の訴えに伴う裁判につきましては、昨日、築館簡易裁判所で実施され、相手方と、分割納入することで和解いたしましたことをご知らせいたします

次に、3ページをご覧ください。

令和4年度栗原市一般会計補正予算第6号は、令和4年7月15日からの大雨による災害復旧事業及び被災者支援等を行うための経費を追加したもので、教育関係では、3つの災害復旧事業の経費を追加しております。1つ目は、7月15日の大雨による築館小学校敷地南側の法面崩落、2つ目は、同じ大雨による高清水体育センター敷地北東側の法面崩落、3つ目は、3月16日の福島県沖地震による国指定史跡旧有壁宿本陣壁の破損等の災害復旧事業であります。

補正予算の内容につきましては、11ページからの一般会計補正予算（第6号）に関する説明書でご説明いたします。

歳入予算14ページ、上段に記載の16款1項4目災害復旧費国庫負担金をご覧ください。2節の公立学校施設災害復旧費負担金は、築館小学校敷地南側の法面崩落に伴う災害復旧費の補助対象となる経費の3分の2に相当する2千575万3千円を追加するものであります。

次に、歳出予算です。16ページ、中段に記載の11款3項1目その他公共施設・公用施設災害復旧費をご覧ください。

災害復旧費の予算額は、教育関係の予算だけでなく、他の公共・公用施設の災害復旧予算も含まれておりますので、記載の額が、全て教育関係の予算ではございません。このことから、教育関係の3つの災害復旧事業ごとに説明いたします。

1つ目の築館小学校敷地南側の法面崩落の災害復旧費につきましては、12節の委託料及び14節の工事請負費で4千287万2千円を追加するものであります。

2つ目の高清水体育センター敷地北東側の法面崩落の災害復旧費につきましては、12節の委託料、13節の使用料及び賃借料、14節の工事請負費で125万円を追加するものであります。

3つ目の旧有壁宿本陣の壁の破損等の災害復旧費につきましては、18節の負担金、補助及び交付金で97万9千円を追加するものであります。

このことにより、その他公共施設・公用施設災害復旧費の補正額7千

801万2千円のうち、教育関係の予算が4千510万1千円の補正額となるものです。以上が、教育関係の補正予算の説明となります。

続いて、10ページをご覧ください。

議案第55号 志波姫公民館建設建築工事請負契約について、ご説明いたします。

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、志波姫公民館建設建築工事について、下記のとおり請負契約を締結するため議会の議決を求めるものであります。

- 1 契約の目的 志波姫公民館建設建築工事
- 2 契約の方法 一般競争入札
- 3 契約の金額 4億7千300万円
- 4 契約の相手方 栗原市築館源光12番24号  
野口建設 株式会社  
代表取締役社長 野口 典秀

本工事につきましては、栗原市建設工事執行規則及び栗原市建設工事執行規則取扱要綱に基づき、令和4年7月6日に一般競争入札を執行した結果、野口建設株式会社を落札者と決定し、7月13日に仮契約を締結しております。

本契約を締結するにあたり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定による予定価格1億5千万円以上の工事請負となることから、議会の議決を求めるものであります。

以上が報告第14号で専決処分を行った教育関係議案の説明となります。

教育長

説明が終わりました。質問はございませんか。

蘇武委員

築館小学校の復旧予算の金額が高いようですが、法面はどの程度大きく崩れたのでしょうか。

教育総務課長

災害箇所の築館小学校の南側の法面は、栗原市役所の北側にありまして、かなり急勾配の斜面となっております。長さが横方向に約5メートル、方向に約5メートル程度の大きさと法面の崩落が発生しております。現状、国の補助事業の対象事業として復旧を行いたいと考えております。補助事業として採択いただくためには、補助基準に則った方法で復旧工事を行う必要がありますので、それを踏まえて最大で見積もった金額を予算措置したものです。実際には、国の査定官等と相談しながら復旧することとなりますので、予算は最大限で措置しましたが、これよりも少ない額で復旧できる場合もあります。いずれにしても、この金額の範囲内で実施できるものと考えております。

教育長

ほかにございませんか。

(なしの声あり)

教育長 質問がないようですので、報告第14号を終わります。

## 10 議事

教育長 6 議事に入ります。

事務局から追加議案提案の申し出がありますので、発言を許可します。

教育総務課長 本日の議事としては、2議案を提案しておりましたが、追加で配布させていただきました定例会資料3の「議案第26号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について」を追加議案として御審議いただきますよう提案いたします。

教育長 事務局から議案追加の提案がありました。議案第26号を日程3として御審議いただいてよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教育長 異議なしと認め、議案第26号について、日程を追加して御審議いただきます。

教育長 それでは、日程1 議案第24号 栗原市就学指導委員会委員の人事について、事務局に内容の説明を求めます。

学校教育課長 定例会資料の1の7ページをお開き願います。

議案第24号 栗原市就学指導委員会委員の人事について  
栗原市就学指導委員会条例第2条第2項の規定により、下記のとおり任命する。

任期 任命の日から令和5年6月30日まで

氏名、所属、役職の順に読み上げます。

菅原 しの 栗原市立栗駒南小学校 校長

鈴木 佑香 栗原市立志波姫小学校 養護教諭

鈴木由美子 健康推進課 保健指導係長

令和4年8月24日提出、栗原市教育委員会教育長でございます。

本議案につきましては、栗原市教育委員会の諮問に応じ、障害のある学齢児童、学齢生徒等の就学指導に関する重要事項を調査審議し、教育委員会に意見を述べる就学指導委員会の委員を任命するものでありますが、令和4年4月1日の人事異動に伴い、新たに任命するものであります。

以上、よろしくご審議を賜り、承認下さいますよう、お願い申し上げます。

教育長 説明が終わりました。質問はございませんか。

(なしの声あり)

教育長 質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教育長 異議なしと認め、日程1 議案第24号 栗原市就学指導委員会委員の人事については、原案のとおり可決いたします。

教育長 日程2 議案第25号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果（令和3年度実績）について、事務局に内容の説明を求めます。

教育総務課長 定例会資料1の8ページをご覧ください。

議案第25号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果（令和3年度実績）について

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果（令和3年度実績）について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、別紙のとおり作成する。

令和4年8月24日提出、栗原市教育委員会教育長でございます。

概要につきましては、議案の次のページの別紙「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書-令和3年度実績-」の1ページをご覧ください。

はじめに、「1 点検・評価制度の概要」でございます。

(1) 趣旨についてであります。点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会が、毎年、その権限に属する事務に関して実施するもので、作成した報告書は市議会への提出や、市の公式ウェブサイトに掲載して公開することにより、市民への説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を図るものです。

(2) 学識経験者の知見の活用でございます。

同法の規定により、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされていることから、宮城教育大学に依頼し、黒川教授から御意見をいただいております。

次に、7ページをご覧ください。「点検及び評価項目一覧」でございます。

教育委員会では、教育基本方針に基づいた各種事業を実施しておりますが、その中から主要19事業を抽出し、A・B・C・Dの4段階で自己評価を行いました。

Aは、「良好な成果をあげることができた」、

Bは、「概ね計画どおりに目標が達成された」

Cは、「やや目標を達成できなかった」

Dは、「課題があり、改善を要する」となっております。

その結果、A評価が8事業、B評価が8事業、C評価が2事業、D評価がゼロ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止したことにより、評価実施できなかった事業が1事業となりました。個別事業の評価等は、8ページから26ページに記載しておりますので、説明は

省略させていただきます。

次に、28ページをご覧ください。

「3 学識経験者の意見」であります。宮城教育大学の黒川教授からは、

- ・ 昨年度に引き続き、感染の予防や拡大を予防する観点から、これまで通りの事業展開が大変難しかったようです。
- ・ 一方で、少しずつ再開できた事業も見られるようになってきたことは朗報であり、これまでのような適切な対応をすれば、感染を発生させることなく、事業を運営できることも分かってきたものと思われ、是非、このような運営方法を事業担当者のみならず、多くの職員で情報共有するのが良いだろうと思われまます。
- ・ 学校でのGIGAスクール構想も本格的に運営されるようになり、栗原市がどのように取り組んでいくのか今後、期待されるところです。
- ・ 目標の達成率が示されておりますが、教育分野は、数字で見えてこない面もあるため、今後、評価指標についても再考することで、より明確な評価ができるようになり、改善点なども明らかにすることが出来るのではないかと考えられました。
- ・ 今後も、新型コロナウイルス感染症下における様々な事業が運営されることになると思われまますが、事業自体が栗原市にとって、どのような意義意味があるのか、再考しながら、検討するとともに、栗原市の様々なセクションが協働しながら運営される必要性を感じまました。との御意見をいただいております。

次に、28ページをご覧ください。

「4 市教育委員会の今後の方向性」であります。学識経験者からのご意見を踏まえ、次のとおり今後の方向性を記載しております。

まず、(1)の学校教育についてであります。

- ・ 学力の向上につきましては、整備されたICT機器を効果的に活用するため、ICT活用モデル校を中心に授業改善に取り組むとともに、引き続き、教職員の研修等に取り組んでまいります。
- ・ いじめ、不登校防止施策の推進につきましては、「命を大切にする教育」を様々な教育活動において指導していくことを各学校の教育計画へ位置付けるとともに、昨年度設置した「栗原市学校教育支援室」を活用し、不登校の未然防止や早期発見、早期対応に取り組んでまいります。
- ・ 健康と体力の向上につきましては、引き続き感染症対策を徹底し、全国体力・運動能力テスト結果の分析や情報共有を図り、更なる向上を目指します。

次に、(2)の社会教育についてであります。



- ・ 生涯学習の推進につきましては、感染防止対策を徹底した事業を実施するとともに、オンラインによる講座も開催し、多くの方々に参加できる環境づくりを行います。また、登録人数が減少しているジュニアリーダーを育成するため、各種事業の実施や啓発活動に取り組めます。
- ・ 協働教育の推進では、「地域の子どもを地域で育てる」環境づくりに必要な、連携強化のための推進体制の整備や仕組みづくりを進めます。
- ・ 文化芸術の振興につきましては、魅力的な事業の企画や、事業の活性化を行います。
- ・ 文化財の保存と活用の推進につきましては、文化財標柱等の継続した整備により周知に努めます。また、小中学生の長期休暇に合わせて企画展を開催するなど、文化財の普及啓発活動事業についても継続的に取り組んでまいります。
- ・ スポーツの推進につきましては、競技協会等と協力し、市民が行うスポーツ活動を引き続き支援していきます。また、昨年度中止となった栗原ハーフマラソン大会は、令和4年度の実施に向けて準備を進めております。

以上が、点検・評価の概要説明となります。御審議のほど、よろしくお願いたします。

教育長  
久我委員

説明が終わりました。質問はございませんか。

点検結果について、市民の方々への公表方法は、ホームページ上のみでしたでしょうか。

教育総務課長

市民の方々に対しては、市の公式ウェブサイトへの掲載により行います。議会に対して配布する場合は冊子となっておりますが、一般市民の方への冊子配布については、現在のところ考えておりません。

蘇武委員

いくつか気になった点があります。

12ページの英語教育の事業についてですが、【目標指標】では現状値と比べて実績値が下がってしまったためにB評価となったと思いますが、【取組と成果】では「…しかし、令和2年度と比較してリスニング等の点数は上がっており…」とあります。目標は達成できなかったが、その一方でリスニングの点数は上がっているということであれば、何故リスニングの点数は上がったのか、その理由を記載した方がよいのではないかと思います。

それから、13ページの地域と連携した防災訓練等の実施について。【取組と成果】の表は、防災訓練を実施したかどうかの表ではなく、地域と意見交換を実施した割合を示したものだと思いますが、【学識経験者の意見】のところで、黒川先生の評価は「…何らかの形で訓練等を実

施することが望ましいと思われました。」となっています。私も以前、勘違いをしていましたが、学校では防災訓練自体は実施していて、地域との意見交換が十分でないということだと思いのですが。

23ページの【取組と成果】の表では、「前年度人数」という表記となっていますが、他の表では「前年度」ではなく「令和2年度」という表現ですので、「令和2年度人数」とした方がよいと思います。それから、その「前年度人数」欄の合計と、【目標指標】の現状値（令和2年度）1,395人が何故一致しないのかがわかりませんでした。

26ページのスポーツ推進の関係ですが、目標値が2,200人に対して実績値が1,805人で達成率が82%ということです。100%にならなかったという意味で評価Bなのだと思いますが、私の感想としては、コロナの状況を考えると、なかなかの達成率かなと思いました。

教育総務課長

ご指摘ありがとうございました。23ページで現状値（令和2年度）が1,395人と表の合計が一致しない件について補足説明いたします。令和3年度の参加人数ということで作成しておりますので、この表では「令和2年度は実施したが、令和3年度は実施していない事業」が省略されております。そのため、人数が一致しない形になっております。

ただいまご指摘いただいた内容については、補足修正して対応させていただきます。

教育長

ほかにございませんか。

（なしの声あり）

教育長

質問がないようですので、一部修正して可決ということによろしいですか。

（異議なしの声あり）

教育長

異議なしと認め、日程2 議案第25号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果（令和3年度実績）については、原案のとおり可決いたします。

教育長

日程3 議案第26号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について、事務局に内容の説明を求めます。

学校教育課長

議案第26号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について  
栗原市就学指導委員会条例第4条第2項の規定により、別紙のとおり任命する。

令和4年8月24日提出、栗原市教育委員会教育長でございます。

先ほどご説明いたしました栗原市就学指導委員会でございますが、委員会に専門の事項を調査させるため、専門委員会を置くことができるとしており、その専門委員を任命するにあたり教育委員会の議決を求めるものであります。

なお、「専門委員は、特別支援教育に関し学識経験のある者、市内教

育機関に勤務する教諭及び市の職員のうちから、教育委員会が任命する。」とし、定数は定めておりません。

2ページをお開き願います。

任期は、委嘱の日から令和5年3月31日までであります。

専任する委員の案でございますが、特別支援教育に関し学識経験のある者として1番から5番までの5名、市内の教育機関に勤務する教諭として6番から17番までの12名、市職員として18番から27番までの保健師10名の合計27名を任命するものであります。

以上、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

教育長

説明が終わりました。質問はございませんか。

(なしの声あり)

教育長

質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教育長

異議なしと認め、日程3 議案第26号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事については、原案のとおり可決いたします。

## 1.1 その他

教育長

7 その他に入ります。事務局から報告があります。

令和4年度全国学力・学習状況調査結果について、説明をお願いします。

学校教育課副参事

定例会資料3の3ページをお開き願います。

「1 調査の目的」、「2 調査実施日」、「3 調査対象」、「4 調査内容」については、ご覧のとおりです。

「5 調査結果」についてですが、教科に関する調査の結果を一覧表にしております。表の一番上の段が栗原市平均正答率です。小学校については、国語61、算数57、理科60、中学校については、国語67、数学40、理科45となっております。その下の段が全国平均正答率、さらに下の段が宮城県平均正答率、表の一番下の2段が全国との比較、宮城県との比較です。宮城県分の数値では仙台市が政令指定都市ということで、仙台市分が除かれております。全国との比較を見ますと、それなりに差があります。特に、中学校の数学では-1.2という状況です。宮城県との比較で見ますと、小学校については-1から±0の差、中学校については国語と理科で-1・-2ですが、数学では-5ということで、こちらについても数学が栗原市にとっての課題であると捉えております。

「6 調査結果の概要」ですが、もう少し詳しく結果を分析したものになります。「(1)教科に関する調査結果から」ということで、小学校につきましては「算数において差が大きい。論理的に思考し表現する問題

の正答率が低い。また、式や言葉を用いて記述する力が劣っている。」というように分析しております。中学校につきましては「数学は差が非常に大きい。事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率や、基本的な連立二元一次方程式の正答率が低い。また、全体的に無解答率が高い。特に、説明することを求められた問題での無解答率が高い。」というように分析しております。

次に「(2)児童生徒の学習状況に関する結果から」ということで、こちらは、質問が当てはまるかどうかということに対する答えからの分析です。「良い傾向にあると考えられる項目」として4つあげました。1つ目は「学校に行くことを楽しいと思うか」という質問に対して、小学校89.4%、中学校85.1%が当てはまるということで、全国や県と比べても高く、良い結果が出ております。2つ目の「自分でやると決めたことはやり遂げようとしているか」については、小学校88.9%、中学校91.7%ということで高い値となっております。3つ目の「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあるか」については、小学校71.6%、中学校61.1%ということで、こちらも高い値となっており、栗原の自然を生かした遊びや学習が行われているものと分析しております。4つ目の「学校で、学級の友達と意見を交換する場で、ICT機器をどの程度使っているか。」については、栗原市では、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒が12.5%で、全国や県と比べても高い値となっております。各学校でタブレット端末の活用が進んでいることが要因と考えております。

「今後改善が必要と考えられる項目」として2つあげております。1つ目は「学校の授業時間以外で、平日に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか。」についてです。小学校では「3時間以上」学習している割合が2.2%で、全国や県と比べて大きく落ちこんでおりますので、課題であると捉えております。一方で、「30分～0分」という、ほとんど勉強しない割合については、全国や県と比べて低いという結果も出ております。中学校では「3時間以上」学習している生徒の割合が3.6%で、全国や県と比べて低く、差があります。次に「自分にはよいところがあると思うか。」については、小学校74.7%、中学校75.4%ということで、全国や県と比べてもやや低い数値となっております。自分のよいところを知らない、或いは、認めていないという傾向が見られます。小学校段階から自己肯定感を高めていく必要があると考えております。

最後に「その他」として、これ以外の項目で気づいた点をあげてみました。「先生は、よいところを認めてくれていると思う」という割合は、栗原市は小学校で全国平均より4.7ポイント、中学校で3.4ポイント

ト高い傾向にあります。このことから、学校では、子ども達を「ほめる」ことがよくなされているものと考えられます。次に、「地域の行事に参加している」という割合は、小学校で全国平均より15.0ポイント、中学校で6.2ポイント高いということで、これについても栗原市は高い数値を示しております。3つ目の「朝食を毎日食べている」割合は、小学校で全国平均より4.7ポイント低くなっております。4つ目の「人が困っているときは進んで助けている」という割合も、小学校で全国平均より3.1ポイント低いということで、家庭での教育などからも補っていく必要があるのかなと考えております。

「7 今後の対策」として4つあげております。1つ目として、今回の調査、市独自の学力調査、家庭学習調査等の結果を関連させて分析し、課題を明らかにしてまいります。2つ目、学力向上研究推進協議会等において、学力向上研究指定校の取組の成果と課題を共有し、各校や各中学校区での授業づくり、授業以外での指導について更なる工夫改善を図ってまいります。3つ目、家庭学習の量と質を高めるため、各校が工夫改善を図るとともに、保護者への啓発を図ってまいります。4つ目、家庭での子どもに対する声掛けがますます重要となってきました。児童生徒の自己有用感・自己肯定感を更に高めるため、学校と家庭との連携を強化する方策を検討、実践していくというものです。以上です。

教育長

次に、令和4年度 全国中学校体育大会結果について、説明をお願いします。

学校教育課長

定例会資料3の3ページをご覧ください。

令和4年度全国中学校体育大会結果について、であります。

令和4年8月18日から20日にかけて宮城県利府町を会場に開催された全国中学校水泳競技大会の男子400m個人メドレーに、志波姫中学校3年の大場隼太郎さんが出場しております。

また、令和4年8月19日から21日にかけて北海道釧路市を会場に開催された全国中学校剣道大会の個人戦・女子に若柳中学校3年の久保琳音さんが出場しております。

結果につきましては、ご覧のとおりであります。

全日本中学生ホッケー選手権大会につきましては、社会教育課から報告いたします。

以上で、学校教育課からの報告を終わります。

教育長

次に、JOCジュニアオリンピックカップ第52回全日本中学生ホッケー選手権大会について、説明をお願いします。

社会教育課長

定例会資料3の6ページをご覧ください。

JOCジュニアオリンピックカップ第52回全日本中学生ホッケー選手権大会が、先週の19日（金）から今週22日（月）まで、築館多

目的競技場と一迫多目的広場を会場に、男女合わせて48チームが参加して開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染対策の観点から観客を制限しての開催となりましたが、各チームの選手達は、猛暑の中でしたが、懸命にプレーに取り組んでおりました。

宮城県代表として出場した栗原西中学校の男子は、予選リーグを2勝0敗で1位通過し、決勝トーナメントでは、1回戦で島根県の仁多中学校と対戦しましたが、2対3で敗れ、惜しくもベスト16という結果となりました。また、築館中学校・栗原西中学校合同の女子は、予選リーグを1勝1敗で2位通過し、決勝トーナメント1回戦で男子と同じく仁多中学校と対戦して3対2で勝利しました。準々決勝において、栃木県の今市・落合中学校と対戦し0対2で敗れましたが、ベスト8という結果となっております。

今大会の優勝チームにつきましては、男子が島根県奥出雲町立横田中学校、女子が富山県小矢部市立石動中学校という結果でした。

以上、大会の結果を報告させていただきます。

教育長

続いて、令和4年度栗原市教育委員会関係行事について説明をお願いします。

教育総務課長

定例会資料2の19ページをご覧ください。9月分の教育委員会関係行事であります。9月11日に、仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサート in くりはらが、ドリーム・パルで開催予定であります。チケットと駐車券を配布させていただきましたので、委員皆様のご参加もお待ちしております。また、9月13日から10月6日にかけて、第5回栗原市議会定例会が開催予定となっております。17日から19日にかけてのホッケー男子U-15選考会につきましては、公益財団法人日本ホッケー協会中学校部会が主催で、男子日本代表チーム選手の選考会が栗原市で開催される予定となっております。行事予定については、以上となります。

教育長

説明が終わりました。質問はございませんか。

蘇武委員

ホッケーの大会の北海道ブロックの参加チーム数がゼロなのは何故でしょうか。

社会教育課長

北海道にはチーム自体がないということで、ゼロとなっております。

只見委員

学力・学習状況調査結果で、正答率が全国平均よりも低いとか、学習時間が足りていないということがわかりましたが、3ページのアンケート結果で、「自分でやると決めたことはやり遂げようとしているか」の割合が高いということで、気持ちはあるのに結果につながっていないのはもったいない感じがします。このギャップが埋めるための取組ができるといいのになあと感じました。

学校教育課副参事

やり遂げようとする気持ちが勉強の方に向くことが大事であると思

います。そのために、授業を面白くするような取組みとして、指定校事業や秋田県への派遣事業などで授業改善を行っているところですが、まだ十分ではなく、成果が出るまで時間がかかっているのかなと感じております。

蘇武委員

中学校の数学の先生を対象として、改善に向けた特別な研修などは行っているのでしょうか。

教育研究センター所長

今年度、算数数学授業づくり研修会を実施しております。年5回、継続して年間通して同じ先生方で行っておりますし、秋田県に派遣した先生に参加していただいて、研修の成果を発揮できるような形で進めております。中学校部会、小学校部会という形で授業づくりの研修を行っておりますが、なかなか、すぐには結果が出ない状況にあります。中学校の先生方が、自分たちで主体的に授業づくりができるような研修も実施しております。本来であれば、8月29日・30日に秋田県大仙市から先生に来ていただくことも計画しておりましたが、残念ながら、コロナの感染拡大で実施できなくなっている状況です。

千葉委員

学力テストの結果がポイントで示されています。数学は、全国と比べて12ポイント低いとのことですが、実際の点数に直すと、どれくらいの差があるものなのでしょうか。

教育長

100点満点で換算すると12点低いことになります。標準的な数学のテストでは、1つのテストの問題数は16問くらいです。1問正解につき約6ポイントという計算になるので、全国と比べて12ポイント低いということは、差は2問分ということです。栗原市は無回答が多いという結果が出ているので、各学校でも、無回答をなくそうということで考えているところです。それから、最近は、問題文の文章が長いという傾向があって、何を答えればよいのかがわからなくなる子ども達が多いようです。普段の授業の中で実際に問題を解いてみたり、授業のやり方を工夫していく必要があると思います。

菅原次長

調査結果で「学校に行くことが楽しい」という割合や、「先生は良いところを認めてくれる」という割合が栗原市は高い傾向にあります。生徒は学校に行きたがっていますし、先生方も頑張っているということが調査結果から分かりますので、十分に改善の可能性をもっています。あとは先生方が工夫して継続して指導していくことが重要と考えております。

教育長

ほかにございますか。

(なしの声あり)

教育長

質問がないようですので、7 その他を終わります。

1 2 次回教育委員会の開催日程

教育長

次回教育委員会定例会の開催日程についてお諮りします。

令和4年9月20日(火)午後3時から開会したいと思いますがいかがですか。

(異議なしの声あり)

それでは、次回定例会は、9月20日(火)午後3時からの開催とさせていただきます。

1 3 閉会

教育長

以上をもちまして、令和4年第11回栗原市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後4時26分

1 4 本委員会の議決の次第は、次のとおりである。

日程1 議案第24号 栗原市就学指導委員会委員の人事について

日程2 議案第25号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果(令和3年度実績)について

日程3 議案第26号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について

この会議録は、書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するため、ここに署名する。

令和4年9月20日

会議録署名委員 \_\_\_\_\_

〃 \_\_\_\_\_